

**令和5年度
全国簿記教育研究協議会**

(令和6年3月9日)

3 級

資料をご覧ください。

- P 2 4 誤答調査一覧表
(対象者1,000名の答案用紙を調査)
- P 4 〔3級〕全国からのご意見

令和5年度
全国簿記教育研究協議会



第97回 簿記実務検定試験誤答調査一覧表

主 催 公益財団法人全!

3 級	
第97回(調査数 1,000人)	
問 題	誤答数
1. 商品の購入(小切手振り出し)	44
仕 入 従業員のための現金立て替え払い	191
と。現金元入れによる開票	297
誤 受。売掛金の貸し倒れ(貸倒引当金残高あり)	317
2. 出金伝票 No. 58 定期預金...全商銀行...500,000	244
期 振替伝票 1/26 ... 広告料 190,000 / 当座預金 190,000	192
3. (1) 仕 訳 帳 4... (仕入)...11... 30,000 / (買掛金)...6... 20,000	24
10... (現金)...30,000 / (売掛金)...30,000	9
11... (現金)...1... 113,000 / (売上)...10... 113,000	48
19... (保険料)...900 / (当座預金)...900	27
総 勘 定 元 帳 売 掛 金 (借方) 18 ... 57,500	88
買 掛 金 (借方) 1/30 ... 24,100	32
仕 入 (借方) 15 ... 24,600	149
水道光熱費 (借方) 1/12 ... 7,800	21
(2) 売 掛 金 元 帳 宮城商店 (借方) 26,000	53
山形商店 (貸方) 43,000	76
(3) 合 計 試 算 表 現 金 (貸方) 29,400	149
当座預金 (借方) 107,800	112
給 料 (借方) 36,000	42
合計金額(借方・貸方) 652,300	343
4. (1) a 2 (Bookkeeping)	126
b ア. 2 (財政状態)	389
イ. 3 (貸借対照表)	194
(2) a ¥ 485,000	63
b ¥ 3,621,000	483
5. (1) 精算表 現 金 () ... () ... 195,000 ... ()	72
(2) 精算表 貸倒引当金 () ... () ... () ... 7,000	142
精算表 仕 入 3,890,000 ... () ... () ... ()	196
精算表 当期純利益 295,000 ... () ... () ... 295,000	251
(2) 備 品 勘 定 (貸方) 次期繰越 ... 240,000	209
受取手数料勘定 (借方) 12/31...損 益 ... 46,000	197
70点以上の合格者数	
874	
60点～69点の不合格者数	
46	

3級

奨励級として

★基礎・基本を重視

★初学の生徒や単位数が少ない学校で学んだ生徒へ配慮

教科書を中心に学習

令和5年度実施の3級合格率

	96回 (令和5年6月)	97回 (令和6年1月)
合格率	52.6%	72.6%

96回 1 仕訳

①大分県より

「『○○商店は～出資した』というような表記は教科書にあるのでしょうか。出資は個人がするものなので、和歌山商店が出資したと、とられてしまう文章は不自然に感じられました。」

c. の問題

c. 福島商店（個人企業）は、現金 ￥1,600,000 を元入れして開業した。

96回 1 仕訳

<内容>

c. 福島商店（個人企業）は、現金 ￥1,600,000 を元入れして開業した。

東法出版 教科書「現代簿記」p24

「秋田商店は、現金 ￥300,000 と備品 ￥200,000 を元入れして、開業した。」

実教出版 教科書「新簿記」p40

「東京商店（事業主 東京一郎）は、現金 ￥600,000 を出資（元入れ）して、営業をはじめた。」

96回 4 計算・用語

<内容>

導入の段階で学習する簿記一巡の手続きに関する基礎的・基本的な内容を理解しているかを問う出題

※資料として当期純利益の金額を提示したことで解答するうえで、配慮をおこなっております。

97回 全般

⑱山口県

「帳簿の問題としての仕訳は基本的なものが望ましいと思うが、1番の仕訳の問題としては、もう少し考えさせる内容があっても良いのではないか。」

97回 全般

①9愛媛県

「配点箇所が多いと思いました。計算問題や語句，決算問題の配点を増やしてもよいと思います。」

②0熊本県

「採点の箇所を再検討してほしいです。（例えば，総勘定元帳の記帳で必要な箇所や伝票の摘要を採点してもらうことで，思考・表現に対応できるのではないのでしょうか）」

公平性の確保や採点作業量，問題の難易度等バランスを考慮し，よりよいものとなるよう研究を重ねていきたい。

97回 3 帳簿記入

東京都より

①「所得税預り金の前期繰越がなかったが、給料支払いの翌月10日までに納付することになっている。もし、前月に支払っているのであれば、当月分はいつ納付するのか。整合性は？」

→前期繰越高を提示するよりも、問題の難易度を検討し、「新しく従業員雇った。」という状況を想定

97回 3 帳簿記入

東京都より

②「現金で受け取り，直ちに当座預金とした。で，現金を仕訳せず，当座預金としているが，他人振出の小切手とは違い，現金を仕訳し，総勘定元帳や現金出納帳に記録して残しておく必要はないのか。」

→「営業担当が出先で回収して当座預金に入金して会計担当に報告し，会計係は入金された旨，報告を受けた。」という状況を想定

97回 3 帳簿記入

東京都より

③「保険料¥900は年払いか。」

→こちらは年払いを想定

問題細部までご検討いただき、ありがとうございます。検定試験という限られたなかで、複式簿記の一連の流れを問うため、取引を限定し金額も少額とするなど、一部整合性の取れない点もあるかと存じます。ご了承いただければと思います。

97回 3 帳簿記入

⑤奈良県

「㊦③(1) 仕訳帳の記入方法は()あり, ()なしどちらでも良いはこれからも続くのか。教科書の出版社によって違うのは指導しづらい。」

→どちらの方法も検定済み教科書で採用されているため, どちらか一方に表記を統一することは難しい

採択されている教科書の通りにご指導いただければと思います。よろしくお願いいたします。

97回 3 帳簿記入

⑥香川県

「1/10と1/19の元帳欄は、採点箇所に入れても良いのではないか。」

→同じミスで生徒の失点が累積しないように配慮

97回 3 帳簿記入

⑦徳島県

「仕入時か売上時の取引の中に，返品や値引きの取引を各回ともに出題すべきではないのか。」

→作問の際，難易度を考慮し参考といたします。

97回 3 帳簿記入

⑧熊本県

「総勘定元帳への転記は、相手勘定まで書かせたいです。」「売掛金元帳（買掛金元帳）は略式でなくとも良いのではないかと思います。」

→帳簿への記帳方法に重点をおくのではなく、複式簿記の一連の流れを問うことで簿記の基礎基本を確認する出題として、略式での出題

補助簿への記入について問う出題は、2級の問題で出題していくことを想定しております。

97回 4 計算・用語

香川県

(1) b (ア) 正答率が低かった。」

→誤答率も38.5%と2番目に高い値

前回の協議会にて「簿記に関する知識の理解を問うような語句問題でも良いと思う。」とのご意見をいただき、今回の作問で参考にさせていただき、貸借対照表の意味の理解を問う出題としました。

97回 4 計算・用語

①沖縄県

「(2) b. 良問でした。計算問題をしっかり勉強している生徒は解けていました。」

→資産・負債・純資産（資本等）の相互関係の理解を問う出題

誤答率は48.3%と今回の検定試験の中で最も高い値

導入の段階で学習する基礎的・基本的な内容の理解が不十分であることがうかがえます。簿記の基礎をしっかりと理解できるように、教科書を中心とした指導の継続を今後もお願いいたします。

97回 5 決算

①秋田県

「検定試験の実施日が28日であれば、受験生の演習量が多く確保されるため、精算表よりも、損益計算書及び貸借対照表を作成する問題の方が良かった。」

→前回の協議会にて、愛知県より「決算について、精算表の問題を検討してほしい。」とのご意見もいただいております、今回は精算表の出題といたしました。

97回 5 決算

②秋田県

「備品勘定への転記問題が95回から3回連続して出題されているため、他に貸倒引当金や仕入勘定のなど、工夫された作問があっても良かった。」

→「前回出題された論点は出題しない。」という観点で出題内容を決定していない。

連続して同じ論点が出題されることもあります。

97回 5 決算

③東京都

「精算表の解答用紙ですが、3級は奨励級だということは理解しております。しかし、決算時に作成以前から「当期純利益」だとわかっていることがあるのでしょうか出題の意図を教えてください。第96回も同様）これからも決算の作表問題が出題されると思いますが、利益なのか損失なのかをあらかじめ表示するのは、避けていただきたい。」

⑤三重県

「精算表に当期純利益が明記されていたが、従来のように（ ）として出題したほうが良い。」

97回 5 決算

<出題の意図>

以下の事項について確認

- ・ 整理仕訳の整理記入欄への記入
- ・ 残高試算表金額の修正の正しい理解
- ・ 損益計算書欄と貸借対照表欄へ正しく移記できる

<当期純利益を明記した経緯>

- ・ まずは精算表作成の過程を重視した出題
- ・ 難易度の調整

※本問は作成を問うのではなく、完成（穴埋め）を問うております。

ありがとうございました